事例No.	2718
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	特定非営利活動法人奥入瀬自然観光資源研究会

事例区分	地域活性化

タグ	・観光 ・関係人口 ・地域運営組織

事例種類	地域資源の活用

事例内容・タイトル

特定非営利活動法人奥入瀬自然観光資源研究会

出典

令和２年度ふるさとづくり大賞事例集

団体表彰

特定非営利活動法人奥入瀬自然観光資源研究会　青森県十和田市

観光振興・交流　定住促進　環境保全　産業振興

概　要

特定非営利活動法人奥入瀬自然観光資源研究会（以下「おいけん」という。）は、旧態依然とした周遊観光スタイルからの脱却を図り、その地域が有する自然・歴史・民俗・文化そして人財という地域固有の「資源」を最大限有効に活用しながら、持続的な観光振興を目指すため設立された団体である。

おいけんは、「奥入瀬フィールドミュージアム構想」と称し、奥入瀬・十和田湖エリア全体をひとつの有機的な野外博物館と見立て、優れたガイディングをもって、その魅力と価値を体感しつつ学んでいく滞在型の観光スタイルを提唱し、地域性を前面に出したオリジナリティに富んだプログラムを提供している。



【モニタリング調査】



【ガイドツアー「コケさんぽ」】

評価された点

・多様な活動を行政に頼らずに実現している。
・奥入瀬・十和田湖地域においてフィールドミュージアム構想を掲げ、自然学校や自然観察会を通じて、地域内外の人々に環境の価値を伝える取り組みを推進するとともに、調査研究のネットワークも構築している。
・【自主性】会費と売上等で運営
　【連　携】自治体との連携
　【独自性】各種ネイチャーツアー等のオリジナリティに富んだプログラム
　【効　果】外国人観光客の増加
　【発展性】満喫プロジェクトに採択され、国内外の利用客増加見込



【外国語ガイド養成講座「フィールド実践」】